

第 23 回北信越地区高等学校軟式野球大会開催要項（令和元年度春季）

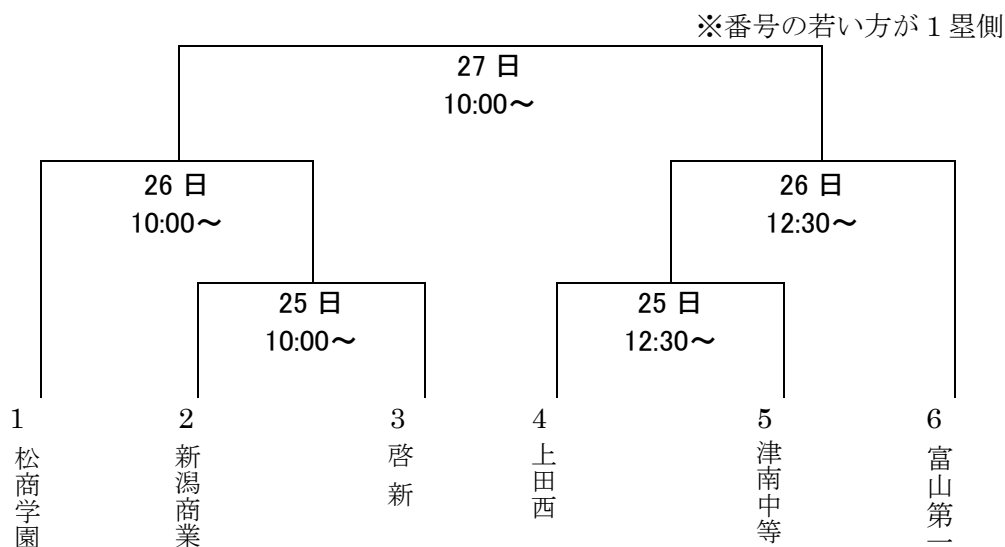
1. 名 称 第 23 回北信越地区高等学校軟式野球大会（令和元年度春季）
2. 期 日 令和元年 5 月 25 日（土）、26 日（日）、27 日（月）3 日間
（雨天順延） 予備日 5 月 28 日（火）
3. 会 場 福井県営球場 TEL.0776-36-1542
4. 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
5. 主 管 福井高等学校野球連盟
6. 後 援 福井県教育委員会
7. 参加資格 日本高等学校野球連盟の制定する平成 31 年度大会参加者資格規定による。ただし、令和元年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景としたクラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。各県高等学校野球連盟軟式部に加盟した学校に限る。
8. 試合球 全日本軟式野球連盟公認の M 号球を使用する。
9. 参加校 新潟県 2 校、長野県 2 校、富山県 1 校、福井県 1 校 計 6 校
10. 入 場 料 無料
11. 組合せ抽選 前年度 2 月代表者会議において行った。なお、抽選は次の原則に従った。
 - ① 同一県チームは決勝戦まで合わせない。
 - ② 30 年度秋季大会の決勝進出県は一回戦不戦勝(シード)とする。
 - ③ 30 年度秋季大会の決勝進出校が同県だった場合、優勝校のみを一回戦不戦勝(シード)とする。
13. 大会本部 福井県営野球場 TEL. 090-2370-5589（大会期間中）
14. 開・閉会式 5 月 25 日（土）午前 9 時より開会式を、5 月 27 日（月）決勝戦終了後閉会式を、それぞれ福井県営野球場で行う。

開会式（9:00）	閉会式
① 役員・選手入場	① 役員・選手入場
② 国旗・連盟旗掲揚	② 優勝旗・賞状・メダル授与
③ 開会の挨拶	③ 閉会の挨拶
④ 選手宣誓	④ 国旗・連盟旗降納
⑤ 一同退場	⑤ 優勝校準優勝校ダイヤモンド一周
	⑥ 一同退場

開・閉会式諸注意

- 各チームとも午前 8 時 45 分までに全員ユニフォームを着用して、福井県営球場入場口前に集合すること。
- アップシューズ、もしくは、スパイクで統一すること。
- 入場時のプラカード持ちは、選手、選手と同じユニフォームを着用した部員（背番号なし）、女子部員のいずれかとする。女子部員の場合、選手と同じユニフォームを着用するか、制服・黒のローファー靴（または白の運動靴）とする
- 選手宣誓は、福井県代表校とする。

15. 組み合わせ



16. 審判委員 福井県高等学校野球連盟審判部より24名

17. 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

18. 試合に関する諸規定

- (1) 試合は2019年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則を適用する。
- (2) 試合前練習は、外野でウォーミングアップ、キャッチボールのみとする。外野では、必ずアップシューズで行うこと。トスバッティング、サイドノックを行うことは一切禁止とする。
- (3) スパイクは、シートノックでグラウンドに入る直前にベンチで履き替えること。
- (4) シートノックは原則として7分間ずつ行う。ただし、前試合の進行が遅れた時等で時間を短縮したり、省略することもある。なお、シートノックの練習補助員（生徒に限る）参加を5名まで認める。補助員は、必ずヘルメットを着用し、ノッカーへのボール手渡し、送球受球（ダイヤモンド内は1塁ベースのみ可）、ブルペン捕手等とし、ノックは絶対に受けないこと。また、女子部員の補助員を、ノッカーへのボール手渡しに限り、最大2名まで認める。ただし、責任教師の指導の下、高校野球にふさわしい運動着、運動靴で参加すること。
- (5) ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- (6) ベンチ入り人員は、責任教師・監督・記録員（生徒に限る）各1名と登録選手18人以内の最大21人以内とする。なお、記録員の服装は、学生服、トレーニングウェア、背番号のないユニフォームのいずれかとする。
- (7) 打者、走者およびベースコーチ、バットボーイ、ボールボーイは、危険防止のため、必ずSGマーク付き（製品安全協会認証）両耳つきヘルメットを着用する。色彩は黒、紺または白のいずれか1色とし、表面にはチームの校名および、その頭文字、校章、番号以外の表示はできない。また、側頭部への校名等の表記を禁止し、前頭部1ヶ所とする。なお、後頭部または側頭部への番号表記は差し支えない。捕手は守備につく際、必ずヘルメット（SGマーク付）、マスク、プロテクター、レガース、急所カップを着用すること。マスク、プロテクター、レガースの色彩は、黒、紺とし、ヘルメットの色彩と表記は打者用と同じ扱いとする。

- (8) 金属バットの使用は日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したものに限り、硬式用金属バットの使用も認める。ただし、色彩（バット本体、商標）は、日本高等学校野球連盟が定めた「高校野球用具の使用制限」で規制したものに限る（金属の地金の色、木製に近い色または黒色）。商標表示は1色に限る。ただし、表示の大きさは縦8センチ、横28センチ以内とする。なお、軟式用バットの打撃部への商標表示については、2ヶ所（表面、裏面）まで認める。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバット（ビヨンド、ハイコンバット等）の使用は認めない。
- (9) 走者やベースコーチらが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。もし、疑わしい行為があれば審判員はタイムかけ、当該選手と攻撃側ベンチに中止し止めさせる。
- (10) コールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差とする。また、降雨等によるコールドゲームは7回完了、もしくは7回表終了とする。ただし、決勝戦には、点数差および降雨によるコールドゲームは一切適用せず、翌日再試合とする。
- (11) 試合が延長戦に入り12回終了時に同点の場合、13回からタイブレークを開始する（高校野球特別規則22）。なお、決勝戦はタイブレーク制度を適用しない。再試合は適用する。
- (12) 選手の背番号は白地の布に黒色または紺色の数字とし、各チームで準備しユニフォームをつけること。背番号は必ず登録順につけること。
- (13) 危険防止のため、鉄棒、バットリングなどの持ち込みを禁ずる。また、メガホンの持ち込みは1個とし、使用は監督に限る。試合中のベンチ内での携帯電話、ラジオ等の使用を禁じます。
- (14) 攻守の決定は、第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降の場合には試合開始予定時刻の1時間前に大会本部で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。なお、オーダー用紙は球場に到着次第速やかに提出すること。
- (15) 責任教師、監督、選手の登録変更は、開会式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。

19. 応援

- (1) 生徒応援団には必ず引率教師がつき、所定の席で応援すること。
- (2) ブラスバンド以外の鳴り物は禁止する。太鼓の使用はリーダーのみ認める。試合前後と自チームの攻撃の時に演奏し、相手チームの攻撃の時は自粛する。
- (3) 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。

20. その他

- (1) 試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当てをする以外、主催は一切責任を負わない。
- (2) 前回大会優勝校は優勝旗を返還してください。